

平成 22 年度

事業計画書

平成 22 年 3 月

財団法人 徳川黎明会  
総務部  
徳川美術館  
徳川林政史研究所

## 目 次

1. 公益目的事業	P. 1
2. 徳川美術館拡充整備基金（公益目的事業）	P. 1 3
3. 収益事業	P. 1 4

# 1. 公益目的事業

## 総務部

- [1] 公益法人制度対応推進  
特例民法法人から公益財団移行認定のための準備および申請手続き 徳川義崇・近松真知子
- [2] 諸規程の見直し・整備 近松真知子・各部協力
- [3] コンピューターシステム化の促進及び見直し 徳川義崇・各部協力
- [4] 財団関係史料の整理 徳川義崇
- [5] 会計業務手順の見直し 会計・経理担当課長 田中博之・各部協力
- [6] 収支決算監査 平成22年5月
- [7] 理事会・評議員会開催
  - (1) 平成21年度決算審議ならびに理事会・評議員会開催 平成22年5月
  - (2) 公益財団認定申請準備のための理事会・評議員会開催 // 7月
  - (3) 平成23年度予算審議のため理事会・評議員会開催 // 23年3月
- [8] 徳川園協議会への参加  
名古屋市蓬左文庫及び徳川園の運営について引き続き関係諸機関と協議する。
- [9] 主務官庁届出・報告事項
  - (1) 平成22年度科学研究費補助金（特定奨励費）交付請求書提出 平成22年4月
  - (2) 平成21年度事業報告書ならびに決算報告書提出 // 6月

## 徳川美術館

[1] 調査・研究	(担当)	(開始)
(1) 館蔵品悉皆調査	学芸部共同	昭和63年
(2) 尾張徳川家関係寺社蔵品調査	同上	〃 58年
(3) 尾張徳川家御道具帳のデータベース化	同上	平成 7年
(4) 尾張徳川家に関連する建中寺所蔵什宝の調査	同上	平成20年
(5) 徳川美術館蔵仏画の調査研究	名誉副館長 学芸員 山本泰一	昭和49年
(6) 請来仏画の研究	同上	〃 56年
(7) 阿弥派の研究	同上	平成 7年
(8) 『君台観左右帳記』の研究	専門参与 学芸担当 佐藤豊三	昭和58年
(9) 茶の湯の名物道具について(名物論) -『玩貨名物記』を中心に-	同上	〃 63年
(10) 尾張徳川家江戸屋敷における文化活動	同上	平成 3年
(11) 徳川義直の文化活動	同上	〃 11年
(12) 近世名古屋城下における文芸活動 -尾張藩士を中心に-	企画情報部部长 小池富雄	昭和57年
(13) 幸阿弥派の蒔絵の研究	同上	平成元年
(14) 唐物漆器の研究	同上	〃 10年
(15) 古代・中世の料紙装飾の系譜	副館長・学芸部長 四辻秀紀	昭和60年
(16) 歌絵・物語絵の研究	同上	平成 3年
(17) 近世絵画の研究	学芸員 吉川美穂	〃 6年
(18) 尾張における画家の活動について -田中訥言を中心に-	同上	〃 11年
(19) 尾張徳川家旧蔵の古典籍および文書について	学芸員 並木昌史	平成 8年
(20) 近世有職織物の調査研究	同上	〃 10年
(21) 中近世の絵画および工芸意匠の研究	学芸員 龍澤 彩	〃 13年
(22) 尾張徳川家伝来中国絵画の研究	学芸員 志賀太郎	〃 17年
(23) 禅宗絵画の研究	同上	〃 19年
(24) 徳川将軍家と尾張徳川家の研究	学芸員 原 史彦	〃 20年
(25) 国宝 初音の調度の総合的研究 (文部科学省科学研究費補助金)	小池富雄 (代表)	〃 19年
(26) 松坂屋染織参考館所蔵の衣服調査研究	吉川・並木	〃 22年

## [2] 文化財保存

### (1) 修理

「国宝重要文化財等保存整備費補助金」(国庫補助事業)

[文化財保存事業] 重要文化財 辻が花染小袖 五領のうち二領  
(楓紋散葵紋小袖・雪持笹文散小袖)

「第4回 徳川美術館拡充整備基金」

[文化財保存事業] 中殿御会図 伝二条為氏筆 修理  
菊折枝蒔絵乗物 俊恭院福君所用 〃

〔3〕 教育・普及

- (1) 定期研究発表会 (月 日) (内 容) (講 師)
- ① 第57回 9月 尾張徳川家所蔵品の行方 山本泰一
- ② 第58回 平成23年2月 平家納経の加飾について(仮称) 四辻秀紀
- (2) 記念講演会 (月 日) (講 師)
- 4月10日(土) いけばな・茶花にみる牡丹 花人 川瀬敏郎氏
- 10月10日(土) 尾張徳川家の宝物 館長 徳川義崇
- 11月13日(土) 初音蒔絵調度 シンポジウム
- (3) 土曜講座 「大名の生活と文化」 (年 月 日) (内 容) (講 師)
- 4月17日 藩祖徳川義直を語る 徳川林政史研究所所長 竹内 誠
- 5月15日 美術工芸品にみる牡丹の意匠 学芸員 龍澤 彩
- 6月 5日 殿様が目を向けた自然 学芸部係長 吉川美穂
- 7月10日 東照宮祭礼と城下町名古屋 蓬左文庫長 桐原千文氏
- 9月11日 名古屋城の構造-『金城温古録』を読む- 学芸員 原 史彦
- 10月 9日 尾張徳川家名宝の歴史 専門参与 佐藤豊三
- 11月27日 千代姫と初音の調度 企画情報部長 小池富雄
- 平成23年
- 1月15日 能装束のデザイン 学芸員 並木昌史
- 2月19日 雛の文化史 副館長 四辻秀紀
- 3月 5日 利休の名言 研究員・大日本茶道学会副会長 田中仙堂
- (4) 夏期講座 「名古屋城」 (月 日) (内 容) (講 師)
- 8月24日(火)・25日(水) 講 義 広島大学教授 三浦正幸氏
- 26日(木) 見学会 名古屋城 朝日美砂子氏、  
白根孝胤  
原 史彦
- (5) 能楽講座「尾張徳川家の能」 テーマ：「猩々」
- 4月24日(土) 猩々と酒 歌人 馬場あき子氏
- 5月22日(土) よろこびの合唱 祝言の謡を皆さんと 能楽シテ方宝生流 辰巳満次郎氏
- 6月19日(土) 祝言能(半能)猩々に前シテ登場 // 観世流 赤松禎英氏
- 7月31日(土) 猩々が乱る? 舞の秘曲 能楽笛方藤田流 藤田六郎兵衛氏
- (6) 徳川林政史研究所 古文書入門講座「幕末の動乱」
- 6月12日(土) 幕末・維新の人間模様-高須四兄弟- 徳川林政史研究所 所長 竹内 誠
- 19日 // 文久の幕政改革 // 副所長 深井雅海
- 26日 // 将軍上洛と徳川慶勝(一) // 研究員 白根孝胤
- 7月 3日 // // (二) // // //
- 10日 // 将軍不在の江戸 -風聞書にみる幕末の世相- // 主任研究員 太田尚宏
- 17日 // 知られざる十五代徳川茂徳の軌跡 // 非常勤研究員 藤田英昭
- (7) 古美術相談会  
原則として毎月第一土曜日午後に行う。

(8) 名曲講座「名曲へのいざない」 4回程度開催予定

(9) 特別企画

(年 月 日)

( 内 容 )

5月 5日

端午の節供特別企画 親と子の甲冑教室

8月 1日～31日

夏休み子供特別企画 (ギャラリー・クイズ、歴史教室ほか)

8月13日～15日

夜間開館

平成23年2月27日

雛まつり展特別企画 十二単着付教室

3月

〃 香袋づくり

(10) 会員のための見学会

国内 春・秋の特別展をみる 京都国立博物館「袈裟展」ほか

海外 史跡・展覧会をみる 韓国中央博物館「高麗仏画展」

(11) 学芸員実習 7月末から8月上旬の7日間

(12) 出講の承認

① 名古屋造形芸術大	通年	山本泰一
② 東海学園大学	集中	〃
③ 愛知県立芸術大学	〃	佐藤豊三
④ 名古屋外国語大学	前期	小池富雄
⑤ 南山大学	後期	〃
⑥ 南山大学	前期	四辻秀紀
⑦ 愛知淑徳大学	後期	〃
⑧ 中部大学	集中	〃
⑨ 名古屋芸術大学	後期集中	吉川美穂
⑩ 椋山女学園大学	集中	〃
⑪ 名古屋大学	後期	〃
⑫ 愛知県立大学	〃	龍澤 彩
⑬ 金城学院大学	前期	〃
⑭ 愛知県立芸術大学	後期集中	〃
⑮ 名古屋芸術大学	通年	原 史彦
⑯ 〃	〃	佐藤豊三
⑰ 愛知県立芸術大学	集中	〃
⑱ 中日文化センター	通年	学芸員

(13) 雑誌・報道広報資料作成 (ポスター・ちらし・ニュースレター)

(14) ホームページの随時更新

(15) 土曜子ども教室の開催・小中生向け普及教育活動・館外出講講座(アウトリーチ)

(16) 中学・高校・大学 職場体験の受け入れ(インターンシップ)

(17) 小・中学校の先生方のための伝統文化体験プログラムセミナー 7.27

(18) 協賛事業

- ①東邦コミュニティカレッジ 共催講座  
7月18日・25日 「畑儀文さんをむかえて」
- ②宗次ホール協賛事業  
尾張徳川家の歴史でたどるクラシック音楽 於宗次ホール  
①4/3 ②6/12 ③7/24 ④8/28 ⑤10/16 ⑥11/28 ⑦12月上旬  
プレイベント 4/2、7/25
- ③あいち子ども芸術大学

(19) 平成22年度 文化庁 美術館・博物館活動基盤整備支援事業

事業名「徳川美術館 地域密着型『武家文化』普及プログラム 『名古屋開府400年をむかえて』  
として、文化庁に対し、平成22年2月28日付けで下記の事業についての支援金交付を申請した。

- ①特別展「大名古屋城展」において、子ども、外国人を対象としたセミナーを開催する。
- ②特別展「尾張徳川家の雛まつり」において、近隣大学等の留学生を対象とした鑑賞会を開催する。
- ③小・中学校生徒のためのワークシート「よしなおくんのここだけのはなし（仮）」を開発・作成する。
- ④徳川美術館ボランティアと他施設のボランティアとの交流・情報交換のため、バスツアーを実施する。

採択された場合文化庁と当館との間で請負契約を取り交わし、事業終了後、経費の全額または一部が交付されることとなるが、採択されない場合でも上記②以外は実施する予定である。

[4] 展 覧 会

(1) 常設展示 (第1室～第6室)

大名の生活と文化 約一ヶ月毎に展示替

(2) 企画展示 (第7室～第9室)

(会期)	(展覧会名称)	(担当)
4月10日～5月23日	名古屋開府400年、徳川美術館・蓬左文庫開館75周年記念春季特別展 王者の華 牡丹 中日新聞社共催	四辻・龍澤
5月29日～7月25日	企画展示 殿様、e c oを考えるー自然へのまなざしー 日本経済新聞社共催	吉川
7月31日～9月26日	名古屋開府400年、徳川美術館・蓬左文庫開館75周年記念春季特別展 大名古屋城展 朝日新聞社共催	原
10月2日～11月7日	名古屋開府400年、徳川美術館・蓬左文庫開館75周年記念秋季特別展 尾張徳川家の名宝 ー里帰りの名品を含めてー 中日新聞社共催	学芸全員

11月13日～12月12日 名古屋開府400年、徳川美術館開館75周年記念 特別展  
 国宝 初音の調度 小池  
 中日新聞社共催

平成23年 1月 4日～ 1月30日 企画展示 尾張徳川家の能 四辻  
 日本経済新聞社共催

2月 5日～ 4月 3日 特別展 尾張徳川家の雛まつり 並木・龍澤  
 中日新聞社共催

(3) 特別展示

千利休 泪の茶杓 平成23年 2月25日～ 3月 6日

(4) 特別観覧

- ① 名香鑑賞会 (1日間) 5月 9日  
 ② 徳川茶会 (9日間) 10月10日・11日・16日・17日・23日・24日・30日・31日、11月3日

(5) 館外展示

明治村茶会 4月16日・17日

(6) 蓬左文庫展示

展示室1 約1ヶ月ごとに展示替

4月 7日～ 5月23日	春季特別展 王者の華 牡丹	四辻・龍澤
5月26日～ 7月25日	家康の祭り-名古屋東照宮祭礼-	小池
7月28日～ 9月26日	特別展 大名古屋城展	原
9月29日～11月 7日	秋季特別展 尾張徳川家の名宝	学芸
11月10日～12月12日	尾張徳川家の金銀調度	小池
平成23年1月 4日～ 2月13日	和歌	並木
2月16日～ 4月 3日	雛	龍澤

※「源氏物語の世界」家康の祭り、和歌、雛の期間

[5] 編 集

- |                           |     |
|---------------------------|-----|
| (1) 特別展図録作成(牡丹、大名古屋城展、名宝) | 学芸部 |
| (2) 金鯨叢書(第38輯)            | 同 上 |
| (3) 尾陽(第8号)               | 同 上 |
| (4) 徳川黎明会叢書               | 同 上 |

[6] 徳川慶勝撮影写真資料の共同調査 学芸部

[7] 図 書

- |              |     |
|--------------|-----|
| (1) 受入・整理・管理 | 学芸部 |
|--------------|-----|



- |       |                 |     |
|-------|-----------------|-----|
| [ 8 ] | 館蔵品コンピューター入力    |     |
| (1)   | キャプション作成        | 学芸部 |
| (2)   | 展示作品リスト(来館者用)作成 | 同 上 |
| (3)   | 調書入力            | 同 上 |
| (4)   | 写真データ入力         | 同 上 |

- [ 9 ] コンピューターシステム化の促進  
文化財管理システムの更新

- [10] 広報活動

- (1) 来館者誘致活動

他の美術館・博物館との連携やマスメディアへの周知、新聞・雑誌・看板などの広告掲載、インターネットの活用などのほか、以下のような活動を計画している。

①団体来館者の利用推進

- a) 来館者数の状況把握と周知徹底
- b) 旅行会社・イベント会社との連携強化
- c) ライオンズクラブ・ロータリークラブ・日本青年会議所・議員後援会・各種組合等との連携強化

②個人来館者の利用推進

- a) 来館者数の状況把握と周知徹底
- b) 提携先（ホテル・教育委員会・他施設等）の開拓
- c) 賛助会会員（法人）及び友の会会員の募集
- d) 来館者ニーズの把握と反映
- e) 百貨店友の会との連携強化
- f) 地域及び他施設でのイベントとの広報等のタイアップ推進  
（大曾根・白壁地区・瀬戸市・名古屋城・ナゴヤドームなど）
- g) はちまる手形の販売促進（名古屋城・徳川園とのセット券）
- h) ランの館との連携（共通券販売）  
宗次ホールとの連携（セット券販売）

- (2) 大学メンバーシップの開拓と維持

- (3) 休館日及び閉館後等における時間外の利用誘致

- (4) 刊行物作成・配布

- ①徳川美術館だより「葵」の発行（年4回）
- ②各種印刷物の作成

- (5) ボランティア業務の運営

- ①第8期募集準備
- ②ボランティア研修の充実
- ③展示解説の充実
- ④体験型解説の実施
- ⑤ボランティアの会研修・見学会の実施

[11] 管 理

(1) 営繕

①館内整備

- a) チラー1号機取替
- b) 来館者用化粧室改装
- c) 映像監視装置取替
- d) ロビー照明系統漏電遮断機取付
- e) 本館床塗装・床コンセント取替
- f) 本館玄関下がり棟瓦修繕
- g) 防排煙機器修繕
- h) 屋上避雷針点検

②庭園整備 周辺民家に隣接する樹木の管理  
C 建物・設備「短期計画(3ヶ年)」の立案と遂行

(2) 備品管理の推進

(3) 建物維持管理の推進

- ①本館・収蔵庫屋根瓦修繕計画立案
- ②電気設備更新計画立案
- ③給排水衛生設備修繕計画立案
- ④空調設備更新計画立案
- ⑤自動火災報知装置更新計画立案

[12] 第19回 徳川美術館運営懇話会の開催

[13] 開館75周年記念式典 10月1日

[14] 徳川園調整会議、業務・企画会議への参加  
徳川園・蓬左文庫及び関係組織との協議

[15] 「国宝重要文化財等保存整備費補助金」(国庫補助事業)の用途  
下記の所蔵美術品の修理を昨年度に引き続き行う。

重要文化財 辻が花染小袖 五領のうち二領  
(楓紋散葵紋小袖・雪持笹文散小袖)

## 徳川林政史研究所

### [1] 調査・研究

#### (1) 研究

( 課 題 )	( 担 当 )	(開始)
① 近世材木商の研究	所 長	竹内 誠 平成11年
② 江戸の園地政策	副 所 長	深井雅海 // 18年
③ 江戸～明治期における林野行政と地域社会	主任研究員	太田尚宏 // 18年
④ 近世大名家における緑化政策の展開	研 究 員	白根孝胤 // 20年
⑤ 近代山村史の研究	特任研究員・筑波大学教授	加藤衛拡 // 20年
⑥ 秋田藩林政史	秋田工業高等専門学校教授	脇野 博 // 20年
⑦ 尾張藩享保林政改革と木曾山の生活	特任研究員	大崎 晃 // 21年
⑧ 幕府直轄林の植林政策に関する研究	非常勤研究員	田原 昇 // 22年
⑨ 筏下げと村落	//	栗原健一 // 22年
⑩ 尾張藩における鷹場支配の研究	非常勤研究生	山崎久登 // 22年
⑪ 阿仁銅山における森林資源の利用に関する研究	//	芳賀和樹 // 22年

(2) 上記の課題研究に関する中間報告のため、研究会を開催する。

### [2] 若手研究者の育成

- (1) 非常勤研究員・研究生による研究会を開催
- (2) // による史料整理・目録作成作業（松原家文書）
- (3) その他、史料調査・普及活動などへの参加

### [3] 編集・刊行

- (1) 平成22年度「研究紀要」第45号（B5判 300ページ前後）を編集・刊行する。 白根孝胤・太田尚宏

### [4] 史料調査

- (1) 林政史アーカイブズ調査 太田尚宏・白根孝胤  
全国の林政史関係史料の所在調査をし、データベース化を行うとともに、必要に応じて複写史料の収集を行う。
  - ① 秋田県立公文書館（秋田県・秋田市）
  - ② 国立公文書館つくば分館（茨城県・つくば市）
  - ③ 塩尻市教育委員会（旧奈良井営林署文書）（長野県・塩尻市）
  - ④ 木曾青峰高校山林資料館（長野県・木曾福島町）
  - ⑤ 土佐山内家資料館（高知県・高知市）
- (2) 民有林業関係史料調査 白根孝胤・太田尚宏
  - ① 八雲産業(株)八雲事業所所蔵史料調査（北海道・八雲町）

- (3) 写真資料の共同調査・研究 白根孝胤・太田尚宏  
徳川美術館と共同で、徳川慶勝撮影写真資料に関する基礎調査・研究を企画・実施する。

(4) 研究資料（複写・写真撮影資料を含む）の調査・収集

- ① 金沢市立玉川図書館所蔵史料調査（石川県・金沢市）
- ② 彦根城博物館所蔵史料調査（滋賀県・彦根市）
- ③ 京都府立総合資料館所蔵史料調査（京都府・京都市）
- ④ 岐阜県歴史資料館所蔵史料調査（岐阜県・岐阜市）
- ⑤ 名古屋市蓬左文庫所蔵史料調査（愛知県・名古屋市）

[5] 所蔵史料の整理

(1) 日常業務において実施する史料整理・点検

- ① 徳川林政史研究所収集史料の整理・目録作成作業を行う。 太田尚宏
- ② 尾張徳川家文書の新目録作成・点検作業を行う。 白根孝胤
- ③ 徳川林政史研究所収集絵図の整理・目録作成作業を行う。 太田尚宏・研究生
- ④ 蜂須賀家文書の整理・目録作成作業を行う。 〃
- ⑤ 蟹江山口家文書の整理・目録作成作業を行う。 〃
- ⑥ 「竹熊手」の目録作成作業を行う。 竹内 誠・太田尚宏
- ⑦ 史料の補修や装備、書庫内の整理など、史料および保存環境の保全につとめる。 深井雅海・太田尚宏・白根孝胤
- ⑧ 所蔵古写真のデジタル化を進める。 白根孝胤
- ⑨ 劣化により利用に危険が伴う史料のデジタル化を進める。 太田尚宏

[6] 所蔵史料の目録刊行

- (1) 尾張徳川家文書に関する内容調査・補充整理を進め、「研究紀要」第45号に「尾張徳川家文書目録（7）」を掲載する。 白根孝胤
- (2) 研究生による史料整理の成果として、「研究紀要」第45号に「石河家文書目録（6）」を掲載する。 白根孝胤・太田尚宏
- (3) 徳川林政史研究所収集史料に関する内容調査・補充整理を進め、「研究紀要」第45号に「徳川林政史研究所収集史料目録（1）」を掲載する。 太田尚宏

[7] 教育・普及

所長・副所長・研究員

- (1) 前年度に引き続き、豊島区教育委員会との共催で、一般向けの古文書解読講座「徳川林政史研究所公開講座」を開催する。
- (2) 徳川美術館主催の「徳川林政史研究所 古文書入門講座」に講師として参加する。
- (3) 林政史・環境史をテーマにした一般向け公開講座を開催する。
- (4) 尾張藩・尾張徳川家に関する研究成果の公開事業を計画・実施する。
- (5) 八雲産業(株)八雲事業所所蔵史料調査の成果公開講演会を行う。
- (6) 平成19年度に実施した第8回「徳川林政史研究所公開講座」の成果をまとめた書籍を刊行する。
- (7) 平成20年度に実施した第9回「徳川林政史研究所公開講座」の成果をまとめた書籍を編纂する。
- (8) 近世・近代の林政史についてわかりやすく解説した一般向け書籍の編集を行う。
- (9) ホームページを積極的に活用し尾張藩政史・幕政史・林政史の研究成果の普及に努める。

(10) 部外出講

- |          |          |     |      |
|----------|----------|-----|------|
| ① 昭和女子大学 | 日本近世史    | 通 年 | 太田尚宏 |
| ② 〃 大学院  | 歴史文化研究Ⅰb | 〃   | 〃    |
| ③ 駒澤大学   | 日本史学演習Ⅰ  | 〃   | 〃    |
| ④ 聖心女子大学 | 日本文化史Ⅱ   | 後 期 | 白根孝胤 |

[ 8 ] 所蔵史料データベースの構築および保存

- (1) 目録刊行作業に合わせて徳川林政史研究所収集史料に関する目録データの修正・補充を行う。太田尚宏
- (2) 目録刊行作業に合わせて尾張徳川家文書に関する目録データの修正・補充を行う。白根孝胤
- (3) 石河家文書の目録データ入力を実施する。〃
- (4) 徳川林政史研究所収集絵図の目録データ入力を実施する。太田尚宏
- (5) 蜂須賀家文書の目録データ入力を実施する。〃
- (6) 「竹熊手」の目録データ入力を実施する。〃
- (7) 「写真資料」の新目録データベースを作成する。〃
- (8) 目録刊行済みの史料群のうちでデータ化が進んでいないものについて、パソコン入力を進める。太田尚宏・白根孝胤・鶴岡香織
- (9) 所蔵史料に関する目録データの拡充につとめ、検索方法や活用のあり方を引き続き検討していく。太田尚宏・白根孝胤・鶴岡香織
- (10) ホームページ等を利用した目録データ公開体制のあり方について検討していく。太田尚宏・白根孝胤・鶴岡香織

[ 9 ] 所蔵図書 of 整理

鶴岡香織

(1) 図 書

- ①新着図書・旧受入分、及び寄贈図書の分類・整理・データ入力を行う。
- ②冊子・ソフトカバーの目録等について製本し、貴重本の散逸を防ぐ。
- ③寄贈依頼を発送し、蔵書の充実に努める。
- ④除籍対象図書を選定し、除籍を行う。

(2) 雑 誌

- ①新着雑誌・寄贈雑誌の整理・データ入力を行う。
- ②製本することによって雑誌の散逸を防ぎ、それと共に欠号の補完を行う。
- ③「研究紀要」の交換先を検討する。
- ④所蔵雑誌の収蔵範囲について検討する。
- ⑤除籍対象雑誌を選定し、除籍を行う。

(3) 抜 刷

- ①各種抜刷を分類・整理・データ入力を行う。

(4) 図書データベースのネットワーク化に向けて作業する。

[ 10 ] 閲覧・複写・出陳・レファレンス業務

- (1) 毎週火曜日・水曜日を閲覧許可日とし、所蔵史料を閲覧に供する。
- (2) 閲覧対象とする史料群は
  - ①旧蓬左文庫所蔵史料
  - ②尾張徳川家文書
  - ③八雲史料
  - ④林政史研究所収集史料
  - ⑤旧名古屋税務監督局所蔵史料（旧愛知県庁文書を含む）
  - ⑥写真資料
  - ⑦絵図類
  - ⑧日本林制史調査資料
  - ⑨その他とする。

- (3) 所蔵史料の複写サービスに際し、総務部と協力して史料出納や撮影補助などに従事し、業務の円滑化を図る。太田尚宏・白根孝胤・鶴岡香織
- (4) 他館からの史料出陳申請に対しては、可能な限り協力していく。太田尚宏
- (5) 電話や書簡によるレファレンスについて、適切な内容のものであれば可能な限りこれに協力する。太田尚宏・白根孝胤

[ 11 ] 補助金関係

- (1) 科学研究費補助金（特定奨励費）に係る申請事務及び経費管理事務 太田尚宏・鶴岡香織
- (2) 特定奨励費以外の科学研究費補助金に係る申請事務及び経費管理事務 鶴岡香織
- (3) 競争的研究資金への応募事務 白根孝胤・太田尚宏・鶴岡香織

[ 12 ] 他機関との連携・協力

- (1) 名古屋市蓬左文庫
- (2) 徳川記念財団・犬山城白帝文庫
- (3) 国文学研究資料館・国立公文書館等の資料保存機関及び学会・協会

## 2. 徳川美術館拡充整備事業（公益目的事業）

### 徳川美術館

[1] 徳川美術館拡充整備基金の会 寄附金募集の推進  
総務部と連携し目標額達成のため努力する。

[2] 寄附金の使途

平成22年度は下記のように使途することを計画している。

「第4回 徳川美術館拡充整備基金」

〔文化財保存事業〕 中殿御会図 伝二条為氏筆 修理  
菊折枝蒔絵乗物 俊恭院福君所用 〃  
菅原道真像（束帯天神）（修理／寄附金の目標達成度合により実施を検討する）  
拾遺和歌集切 藤原定家筆（ 同 上 ）

〔教育普及事業〕 文化財管理システム更新事業

### 3. 収益事業

#### 総務部

- [1] 住宅賃貸  
外国人向け住宅6棟を賃貸する。

#### 徳川美術館

- [1] ミュージアムショップの運営
  - ①HP掲載やイベントの連携などによるミュージアムショップ及び商品のPR
  - ②名古屋城、市内ホテルなど外部での販売推進
- [2] 宝善亭利用の円滑化推進